

# 取扱説明書

保存用 一般屋内用



◎一部の製品を除き、器具の設置施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店にご相談ください。工事店様へ、この説明書は保守の為お客様にかならずお渡しください。

## ご使用上の注意

- 蛍光灯は、周囲温度により明るさが変化します。低温となる場所で使用されると、極端に暗くなったり、点灯しなかったり、点灯直後にチラツキが発生する原因となります。
- 蛍光灯使用器具は、流れ込む外気の影響で照度低下を生じる場合があります。温度変化の激しい場所では使用しないでください。
- 蛍光灯使用器具は、ランプに風が連続的にあたるような環境(例えば、空調の吸排気の影響を受ける環境)では使用しないでください。照度低下や水銀の凝集・斑点を生じます。また、コンパクト蛍光灯は点灯してから明るくなるまで少し時間がかかりますが、異常ではありません。
- 喫煙による煙や、ほこりの多い場所では、熱の対流により器具の回りにヨコが集中することがあります。→定期的にお手入れ、また、器具に傷がついたまま長期間で使用になりますと錆が流れ出る場合があります。
- クロス固定用の接着剤が十分乾燥するまで、器具を取り付けしないでください。
- メッキ変色・クロス変色の原因となります。梅雨時期には特にご注意ください。
- インバータ式安定器を内蔵する器具を使用される場合は、インバータ対応用の高周波対応型プレーカーをご使用ください。→未対応のプレーカーの場合、不要動作によりプレーカーが遮断される場合があります。
- ラジオ・ワイヤレス方式の機器は、なるべく器具から離してご使用ください。雑音が入る恐れがあります。
- 間引き点灯の場合は、分岐回路を設け、そのスイッチで消灯してください。
- 製品は予告無く仕様を変更することがあります。
- 使用済みランプは、市区町村の指示に従い、正しく処理してください。

### ◇電子トランス内蔵器具について

- 調光する場合は、調光可能ワット数のランプ及び弊社製「ローボルト専用調光器」を使用してください。他社製調光器と組合せた場合、チラツキが生じることがあります。
- 調光装置に対して、適合負荷範囲で使用してください。(負荷範囲が異なるとチラツキが生じることがあります。)
- 1灯のランプが不点灯になった場合、他のランプがチラツクことがあります。
- 調光回路が複数の場合、各調光装置の負荷バランスが異なったり、各々のコードが交差していると、調光設定位置によってはチラツキが生じることがあります。
- 調光する場合、電子トランス側面の切替スイッチは「標準モード」にしてください。「ロングライフモード」ですと、チラツキが生じます。
- ランプ点灯中、トランス部から回路の動作音がしますが、異常ではありません。

## 点検・交換について

### ◇寿命について

- 器具には寿命があります。
- 設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
- \*使用条件は周囲温度30℃以下、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C8105-1解説による)
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。

### ◇点検・交換について

- 1年に1回は「安全チェックシート」により自主点検をしてください。(「安全チェックシート」は(社)日本照明器具工業会のホームページ <http://www.jlssn.or.jp/index.htm> をご覧ください)
- 3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
- 3年以上お使いいただいた器具は、コードなどを1年ごとに点検し、異常があれば交換してください。
- 点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などにいたるおそれがあります。

## 保証について

### ◇保証について

- 保証期間はお買い上げの日より1年間です。ただし、蛍光灯器具・HID器具の安定器、ダウントランス及びLED専用電源については3年間の保証です。(ランプ、点灯管、蓄電池、スポンジゴムパッキンなどの消耗品やセード、リモコン送信機は対象外です。)
- 「5年間の無償提供の対象LEDモジュール」については、通常の1年間の保証に加え4年間、「5年間の無償提供の対象LED電源ユニット」については、通常の3年間の保証に加え2年間の無償提供となります。尚、無償提供品に関しては取り付け、取替えなどの費用は含みません。
- 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とさせていただきます。
- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理させていただきます。

### ◇補修用性能部品(電気部品)について

- 弊社はこの照明器具の補修用性能部品(電気部品)を製造打ち切り後、6年間保有しています。
- 補修用性能部品には、同等性能を有する代替品を含みます。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。(セード・グロブなどは含まれません。)

## お手入れ・清掃方法 (△必ず電源を切って行ってください。感電の原因になります。)

### ◇器具の清掃について

- 器具を清掃する際は、乾いたやわらかい布か、水で濡したやわらかい布をよく絞ってから拭いてください。
- ランプを清掃する際はランプを器具から外して乾いた布で拭いてください。
- 器具をいためますので、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの薬品で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
- 金属部分をクレンザーやたわしでみがかないでください。→傷や腐食の原因となります。
- 器具・ランプを水洗いしないでください。→故障・感電の原因となります。

高付加価値空間創造企業 株式会社 遠藤照明

【URL】 <http://www.endo-lighting.co.jp>

ERG5457M-T 1版

# 取扱説明書

保存用 一般屋内用



◎一部の製品を除き、器具の設置施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店にご相談ください。工事店様へ、この説明書は保守の為お客様にかならずお渡しください。

## 安全に関する

## 警告

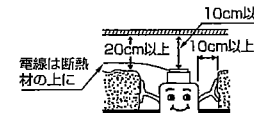
- この器具は防水性能を有さない器具です。水や湿気の多い場所に使用しないでください。→火災・落下・感電の原因となります。
- 電源電圧は定格電圧の±6%以内でご使用ください。→過電圧を加えると発熱し、火災の原因となります。
- 器具の改造、部品の交換をしないでください。→火災・落下・感電の原因となります。
- この器具は断熱施工不可です。断熱材・防音材をかぶせて使用しないでください。→施工に不備があると火災・感電の原因となります。
- 空調設備の近くなど、風が強く当たる場所には取り付けしないでください。→器具落下、またはランプの短寿命の原因となります。
- カーテンなどの燃えやすい物の近くに器具を設置したり、器具の上に燃えやすい物を乗せたりしないでください。→火災の原因となります。
- イグナイター内蔵の安定器はランプ始動のため高圧電圧パルス(最高5kV)が発生します。管灯回路の電気接続作業には十分に注意し、絶縁処理は確実に行ってください。→絶縁処理が不十分な場合は感電、火災の原因となります。
- ランプが切れたまま、または、ランプを取りはずしたまま使用しないでください。→感電や短寿命、また発熱により火災の原因となります。
- ランプ交換時は、電源を切ってください。→通電したままランプを取り付けると感電・火傷、ソケット等の電気接点部のスパークによる部品の損傷・劣化の原因となります。



- ランプが点灯しない場合、使用中に不点になった場合、またはその他の異常を感じた場合は、直ちに電源を切ってください。→火災の危険性がありますので電気工事店にご相談ください。
- この器具は周囲温度5~35℃の範囲でご使用ください。→それ以外の環境でご使用になると火災・落下または器具の変形、ランプの短寿命の原因となります。\*特殊環境用のもの使用条件は裏面の個別仕様紙面をご覧ください。
- 器具取付部分以外の本体外郭を、天井内・壁面内の造営材やダクトなどの設備や配線器材に接触させないでください。→火災・器具の過熱・焼損・漏電の原因となります。
- 防湿気密フィルムで構成した空隙を断熱層内側に設けた部分へは使用しないでください。→火災の原因、ランプ短寿命の原因となります。
- 器具に指定された取付け方向、点灯方向を守ってください。→火災・落下・感電の原因となります。
- 被照射物と器具は50cm以上、または、器具本体及び取扱説明書に明記された近接照射限度の距離以上、離してください。特に絹・皮・布地など「色落ち」の恐れがある物に照射する場合は注意が必要です。→火災・変色・褐色の原因となります。
- 不意にドア等の開閉物が開いて、開閉物の上部と器具が近接することがある場合は、開閉物の上部と器具の距離が器具本体及び取扱説明書に明記された近接照射限度の距離以上となるように設置してください。→開閉物の焦げ・変色、火災の原因となります。
- こんな場所には取り付けしないでください。→正しく取付けないと落下の原因となります。



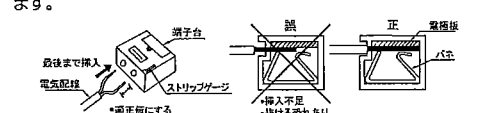
- 施工方法は次のように行ってください。電気配線は断熱材・防音材の上側にくるようにしてください。断熱材・防音材の上部は最低20cmの空間が必要です。
- 器具から断熱材・防音材までの距離を10cm以上、離してください。(器具個別に指定がある場合を除く)
- 断熱材・防音材で器具の放熱穴などをふさがらないでください。→火災・感電の原因となります。



- ポリエチレン系絶縁体を使用したEM(エレクトロマテリアル)ケーブルをご使用される場合には、端末部付近の絶縁体露出部には、黒テープなどで覆い保護を施してください。(ただし、耐紫外線EM-EEFは除く)→保護が不十分だと感電・火災の原因となります。



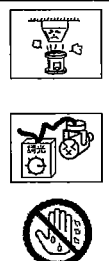
- 傾斜した天井には取付けしないでください。(傾斜天井用器具は除く)
- 振動のある場所には取付けしないでください。→火災・落下・感電の原因となります。
- 電線は特に指定がない場合はVVFまたはEM-EEFのφ1.6、φ2.0単線をご使用ください。
- 器具に指定されている場合は、指定電線を必ずご使用ください。
- 電気配線は端子台のストリップゲージに合わせて適切な寸法で被覆をはぎ取り、それぞれの線芯を平行にそろえ、端子台の挿入口にまっすぐ最後まで押し込んでください。→押し込みが不十分だと、焼損・漏電・感電・不点灯の原因となります。
- 電源線は解除ボタンを押さずに引き抜かないでください。→接点金具が変形し、焼損・漏電・感電・不点灯の原因となります。



## 安全に関する

## 注意

- 器具の下にストーブ、コンロなどの発熱物を置かないでください。→火災・落下または器具の変形・ランプの短寿命の原因となります。
- トランス・安定器内蔵器具は調光器との併用をしないでください。→火災またはランプ短寿命の原因となります。一部調光可能な器具もありますので仕様をご確認ください。
- ぬれた手でコンセントプラグや切替スイッチに触れないでください。→感電・火災の原因となります。



- ランプ点灯時、及び消灯直後(消灯後20分まで)は器具やランプに触れないでください。→高温の為、火傷の原因となります。消灯後冷えるまでお待ちください。
- 器具の一部が破損したまま使用しないでください。→落下・怪我の原因となります。



ERG5457M-T 1版

## 仕様

共通仕様	定格電源	AC100V 50/60Hz 共用
	リモコン電池	単四形乾電池 2本 (テスト用乾電池/付属品)
ERG5458M	消費電力	44.0W
	器具光束	3003lm
	製品質量	約 2.2kg
	外形寸法	約 φ550 x 100 mm
ERG5457M	消費電力	52.5W
	器具光束	3769lm
	製品質量	約 2.2kg
	外形寸法	約 φ550 x 100 mm
ERG5463N ERG5463U ERG5463W	消費電力	44.0W
	器具光束	2702lm
	製品質量	約 3.0kg
	外形寸法	約 φ580 x 100 mm
ERG5461N ERG5461U ERG5461W	消費電力	52.5W
	器具光束	3392lm
	製品質量	約 3.0kg
	外形寸法	約 φ580 x 100 mm
ERG5464N ERG5464U ERG5464W	消費電力	44.0W
	器具光束	2763lm
	製品質量	約 2.4kg
	外形寸法	約 φ550 x 100 mm
ERG5462N ERG5462U ERG5462W	消費電力	52.5W
	器具光束	3467lm
	製品質量	約 2.4kg
	外形寸法	約 φ550 x 100 mm

- 壁スイッチやリモコンスイッチに複数台の照明器具を接続する場合は、各スイッチの仕様をご確認の上、ご使用ください。  
(定格 AC100V 15Aの壁スイッチをご使用の場合は最大6台までの接続が可能です。)
- 消灯時でも、約1Wの待機電力を消費しています。長時間ご使用にならないときは、主電源を切ってください。
- LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。)  
光源寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。\*40,000時間は、寿命を保証するものではありません。
- 医療機器を使用される場所ではご使用いただけません。

ERG5457M-T 1版

## STYLISH LEDZ series

### 調光調色シーリングライト 取扱説明書

保管用

[型番] ERG5458M, ERG5457M, ERG5463N, ERG5463U, ERG5463W,  
ERG5461N, ERG5461U, ERG5461W, ERG5464N, ERG5464U, ERG5464W,  
ERG5462N, ERG5462U, ERG5462W







■取扱説明書は、ご使用になるお客様が大切に保管してください。






### 安全上のご注意






人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、区分して説明しています。

■お守りいただく内容を図記号で説明しています。(下記は、図記号の一例です。)

 <b>警告</b> 「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。	   してはいけない「禁止」の内容です。
 <b>注意</b> 「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。	 必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告	
 <b>分解禁止</b> 器具を改造したり、部品交換を行わない。器具の隙間や放熱穴に、金属類や燃えやすいものなど差し込まない。 ● 火災、感電、落下によるけがの原因になります。	 <b>水濡れ禁止</b> 浴室や屋外など、水や湿気の多い場所で使用しない。お手入れの際は、器具を水洗いしない。 ● 漏電、感電や火災の原因になります。
 <b>禁止</b> 器具を布や紙など燃えやすいもので覆ったり被せたりなどしない。 ● 火災の原因になります。	 <b>必ず守る</b> 器具の取付けは、取扱説明書の内容にしたがい、本製品の重量に耐えられるところに、確実に取付ける。 ● 誤った取付けや強度に不備があるところへの取付けは、落下、感電、火災、けがの原因になります。  電源線の接続は、器具の取付け方法にしたがい、確実に接続する。 アダプタは確実に取付ける。 ● 不完全な接続は、接触不良による発熱、火災の原因になります。
 <b>必ず守る</b> 交流100ボルトで使用する。 ● 過電圧を加えると過熱し、火災、感電の恐れがあります。  万一、煙が出たり、変な臭いがするなど、異常を感じた場合、速やかに電源を切る。 ● 異常状態が収まったことを確認し、販売店または最寄営業所にご相談ください。	

注意	
 <b>禁止</b> 付属のアダプタは、この器具専用です。付属のアダプタを他の器具に使用しない。また、他のアダプタをこの器具に使用しない。 ● 落下、感電、火災、けがの原因になります。	 <b>禁止</b> 配線器具取付けの電気工事は、必ず電気工事店に依頼する。 ● 電気工事には、資格が必要です。
 <b>禁止</b> 他の調光器と組み合わせて使用しない。 ● 本製品は調光機能が付いた壁スイッチなどには対応していません。調光器と組み合わせて使用すると故障、火災の原因になります。	 <b>必ず守る</b> 付属の梱包材は取り除いて使用する。 ● 梱包材を取り除かないで使用すると、故障や火災の原因になります。
 <b>禁止</b> 温度の高くなるものを器具の真下に置かない。温度の高い場所で使用しない。 ● ストープなどを器具の真下に置かないでください。器具が高熱になり、火災の原因になります。	 <b>禁止</b> 点灯中や消灯直後はLEDやその周辺にさわらない。 ● やけどの原因になることがあります。 ● お手入れは、電源を切り、LEDやその周辺が冷めてから行ってください。
 <b>必ず守る</b> 照明器具には寿命があります。設置して長い年月が経過すると、外観に異常がなくても、内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。 ● 点検せずに長時間使い続けるとともに、火災、感電、故障、落下などに至る場合があります。	



## 取付けできない天井

■次のような場所には取付けない 火災、感電、落下によるけがの恐れがあります。

●突出部のある場所、凹凸のある場所 補強のない、簡単にたわむ弱い場所

●平面でない場所

●傾斜した場所

この器具は水平天井面取付け専用です。

■次のような配線器具には取付けない 火災、感電、落下によるけがの恐れがあります。

●配線器具の交換をしてください。(交換には資格が必要です。)

次の配線器具は、出しろを確認してください。

●配線器具の交換をしてください。(交換には資格が必要です。)

次の配線器具は、出しろを確認してください。

角型、丸型引掛シーリングの場合、21mm以下は取付けできません。 埋込ローゼットの場合、10mm以下は取付けできません。

## 各部の名称

下図は一部省略抽象化した、共通部品図です。

●器具本体裏側についている「スポンジ」は取り外さずにご使用ください。本体の固定ができなくなります。

使用とともに、本体裏側の緩衝材(スポンジ)の色が、天井面に色移りすることがあります。

## 器具の取付け

安全のため、必ず電源を切ってから行ってください。

### 1.アダプタ取付け

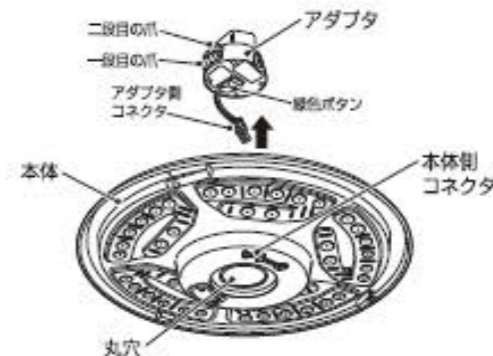
- ①天井に取付いている引掛シーリングの固定強度やガタつき、破損がないか確認後、アダプタを取付けてください。
- ②アダプタの引掛金具を引掛シーリングの嵌合穴に挿入し、アダプタ本体を右方向にカチッと音がするまで回してください。

- 引掛けシーリングにガタつきがあれば、ガタつきを直してください。
- 必ずアダプタ本体を持って回してください。緑色ボタンを操作すると破損したり故障の原因になります。
- 取付け後、赤色ボタンを押さないで左に回して、外れないことを確認してください。
- 取付けが不完全な場合、火災、感電、落下によるけがの恐れがあります。



### 2. 本体取付け

- ①アダプタの緑色ボタンをスライドさせ「ロック解除」にしてください。
- ②アダプタ側コネクタを本体の丸穴に通し、本体をアダプタの爪に引っ掛けるため、カチッと音がするまで、両手で上に押し上げます。アダプタの両側の爪で本体が取付けられます。
- ③本体取付け後、アダプタの緑色ボタンをスライドさせて、「ロック」にしてください。
- ④アダプタ側コネクタと本体側コネクタを接続してください。



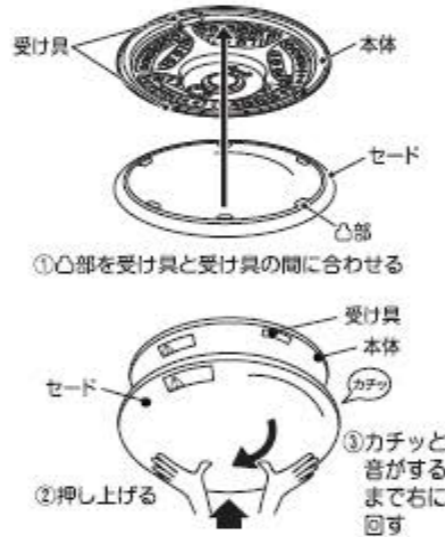
- 引掛シーリングの種類により本体に掛かるアダプタの爪の位置が変わりますので、右図を参照し、適切な位置の両側の爪に本体が掛かっていることを確認してください。
- 取付け後にアダプタの緑色ボタンがロックされていることを確認してください。
- 取付け後、本体を軽くゆすってみて、確実に取付いていることを確認してください。本体がグラグラしたり、本体が簡単に回転したりする場合は、正しく取付けられていません。
- コネクタや電線を無理に引っ張ったりねじったりしないでください。
- 取付けが不完全な場合、火災、感電、落下によるけがの恐れがあります。



**器具の取付け** 安全のため、必ず電源を切ってから行ってください。

**3. カバー取付け**

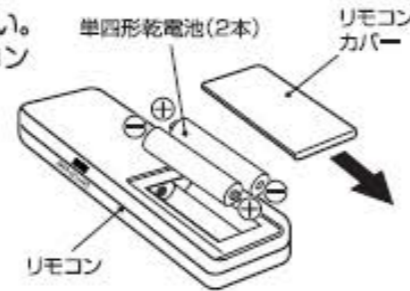
- ① カバー内側の凸部を本体の受け具と受け具の間に合わせます。
- ② カバーを押し上げます。
- ③ カチッと音がするまで右に回してください。
  - カバーを最後まで回して、確実に取付けてください。カチッと音がしたところが、固定位置です。
  - カバーを回したときに、本体も一緒に回るような場合はうまく取付いていないことがあります。本体を押えながらカバーを回し、取付けてください。
  - 取付けた後、水平に取付けられていること、また、カバーを軽くゆずって確実に取付いていることを確認してください。取付けが不完全な場合、落下してけがの恐れがあります。



**リモコン操作とチャンネル設定**

**■ リモコンに乾電池を入れてください。**

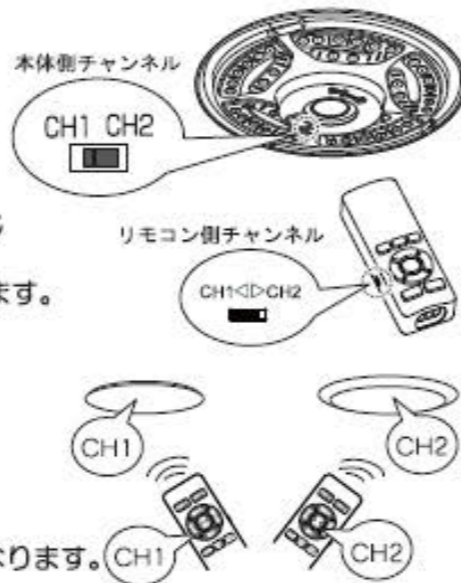
- リモコンカバーを押しながら手前に引いて外してください。
- 乾電池の極性+、-を間違えないように入れてリモコンカバーを閉めてください。
- ・ リモコンの平均電池寿命は、約半年間です。半年を目安に電池を交換してください。電池交換の際、必ず2本とも交換してください。単四乾電池以外のものや、新旧の電池を混ぜて使わないでください。
- ・ 長時間使わないときは乾電池を外してください。
- ・ リモコンは必ず器具に向けて操作してください。リモコン周囲にしゃへい物がある場合、器具が作動しませんので、しゃへい物を取り除いてください。



※注意 初回セットの乾電池は動作確認用のものです。新しい乾電池と交換してご使用ください。

**■ チャンネル設定**

- 本体側のチャンネルとリモコンのチャンネルを同じチャンネルに合わせてください。お買上げ時は、本体側、リモコン側とも「CH1」に設定してあります。
- 2台の器具を1つのリモコンで操作する場合
  - ① 1台目の本体側チャンネルを「CH1」、2台目の本体側チャンネルを「CH2」に設定してください。
  - ② 操作したい器具のチャンネルに、リモコンのチャンネルを設定し操作してください。
- ボタンを押すごとに「ピッ」という音で確認音がなります。



**リモコン操作とチャンネル設定**

**メモリーボタン**

- お好みの明るさ、光色を記憶させる事ができます。
- 「メモリー1」「メモリー2」を押すと、記憶させた明るさ、光色でそれぞれ点灯します。
- 記憶させる場合は、お好みの明るさ、光色にしてからそれぞれのボタンを約2秒間長押しすると、「ピッ」という確認音が鳴って記憶します。

**点灯・消灯ボタン**

- 消灯時に押しと100%の明るさ(光色は中間の昼白色になります)で点灯します。
- 点灯時に押しと消灯します。

**「明るさ」を調節するボタン**

「明るい」ボタン

- 押すごとにLEDライトが明るくなります。(10段階)

「暗い」ボタン

- 押すごとにLEDライトが暗くなります。(10段階)

**「光色」を調節するボタン**

「白い色」ボタン

- 押すごとにLEDライトが昼光色(すっきりさわやかな光色)になります。(11段階)

「暖かい色」ボタン

- 押すごとにLEDライトが電球色(暖かみのある落ち着いた光色)になります。(11段階)

**タイマーボタン (30分/60分)**

- 1回押しと「ピッ」と鳴って約30分後に消灯します。
- 2回連続し押しと「ピッピッ」と鳴って約60分後に消灯します。
- いずれの場合も「点灯・消灯」ボタンで一度消灯するとタイマー設定は解除されます。
- 常夜灯点灯時はタイマーでの消灯はできません。

**タイマー解除ボタン**

- タイマー設定中に押しと「ピー」と鳴って設定したタイマーを解除します。

**常夜灯ボタン**

- 押すごとに、「常夜灯」と「消灯」が切り替わります。

**【壁スイッチで操作する場合】 点灯と消灯が操作できます。**



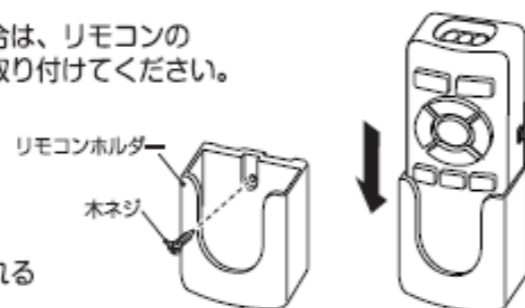
- 壁スイッチで「点灯」した場合は、常に100%の明るさで点灯します。(光色は中間の昼白色になります)
- 壁スイッチで「消灯」した場合、メモリー1、メモリー2ボタンに記憶した明るさ、光色の設定は消去されます。
- 照明器具が消灯状態の時に、壁スイッチを「OFF」にしている場合、次に壁スイッチを「ON」にすれば点灯します。



## リモコン操作とチャンネル設定

### ■ リモコンホルダーを壁等につける

- リモコンホルダーを壁等に取り付ける場合は、リモコンの重さに十分耐えうる強度があるところに取り付けてください。
- 両面テープをリモコンホルダーの裏側に貼り付けるか木ネジで取付けてください。壁の状態により両面テープでは、取付けできないことがあります。
- 両面テープをはがすときは壁材等もはがれる場合がありますので、ご注意ください。



### 器具の取外し

安全のため、必ず電源を切って、本体や周辺が冷えてから行ってください。

#### 1.カバー取外し

カバーを左に回して外します。

- 右に回すと、破損、落下の恐れがあります。

カバーを右に回すと破損、落下の危険があります。



#### 2.本体取外し

- ①アダプタ側のコネクタの爪を押しながらかき抜いてコネクタを外します。
- ②本体をしっかりと支えながら、アダプタの緑色ボタンをスライドさせて、「ロック解除」にします。さらに緑色ボタンをスライドさせて、爪を内側に入れて本体を取外します。

- コネクタや電線を無理に引っ張らないでください。感電、故障の原因になります。

- 本体が落下しますので、しっかりと手で本体を支えながら作業をしてください。破損や落下によるけがの原因になります。



#### 3.アダプタ取外し

アダプタの赤色ボタンを押しながら、アダプタ本体を左に回し、アダプタを取外します。

- 赤色ボタンを押さずにアダプタを無理に回さないでください。また、アダプタ本体を持って回してください。破損や落下の原因になります。



### お手入れ

安全のため、必ず電源を切って、本体や周辺が冷えてから行ってください。

- 明るく安全に使用していただくために、定期的(6ヵ月に1回程度)に、清掃、点検をしてください。
- 汚れがひどい場合は、石けん水に浸したやわらかい布をよく絞ってふき取ってください。
- シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因になります。
- 器具に水をかけたりして洗わないでください。火災や感電の原因になります。

## 使用上のご注意

- 付属のリモコンは、当社リモコン照明器具専用です。他社のリモコン照明器具や、リモコン式テレビやビデオなどには使用できません。また、他社の照明器具のリモコンや、テレビやビデオなどのリモコンでは、照明器具は操作できません。
- 壁スイッチで電源を切った場合および停電の場合は、リモコンで操作できません。壁スイッチONおよび停電復帰後は、全灯状態になります。
- 長時間使わないときは、壁スイッチをOFFにしてください。
- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮により若干のきしみ音が照明器具から発生することがありますが、異常ではありません。
- 照明器具の近くでラジオやリモコン式の電気機器を使用されると、雑音が入ったり、リモコンを操作しても作動しない場合があります。その場合は、ラジオやリモコン式の電気機器を離して使用してください。
- 壁スイッチやリモコンにより電源のON/OFFを短い時間に続けて繰り返し操作しないでください。故障の原因になります。
- 天井、壁などの色や材質により、リモコンの操作距離が短くなる場合があります。また、周囲温度が低いと点灯直後リモコンで切り替わりにくいことがあります。その場合は、近づいたり、また、しばらくしてから操作してください。
- LED光源は、器具に組み込まれているため、交換はできません。
- LED光源には、バラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- 安全上、LED光源を直視しないでください。

## 故障かな?と思ったら

下表にしたがって点検してください。

現象	考えられる原因	処置
点灯しない	コネクタが確実に差し込まれていない	コネクタを一度抜き、再度しっかりと差し込む
	アダプタが確実に取り付けられていない	アダプタを確実に取り付ける
	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにする
リモコンで操作できない	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する
	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる
	リモコンと本体の間にしゃへい物がある	しゃへい物を取り除く
	リモコンと本体のチャンネルが合っていない	リモコンと本体のチャンネルを合せる
リモコン操作時LEDライトがちらつく	調光中です。	調光(下限付近)動作時、ちらつくことがあります。異常ではありません。調光動作が終わるとちらつきも止まります。

点検をしてもなお異常がある場合には、ただちに電源を切り、販売店あるいは最寄営業所にご相談ください。